



カフェでお弁当などを販売する大崎さん（左端）ら

まかせて 清掃やカフェ

日野市「光の家」に公園の運営委託

東京都

東京都日野市は、4月に開所した旭が丘地区センターの管理・運営を地元の社会福祉法人に委託した。障害者が清掃に取り組んだり、カフェを開いたりして地域交流の原動力になつてきている。

老朽化と地元住民から

の要望により、旧セ

ンターの隣に新設。J

R豊田駅から徒歩約20

分の住宅街にある旭が

丘中央公園内に位置す

る。園内にはテニスコ

ートやグラウンドを備

めの総合福祉事業を展

開する地元の社会福祉

法人「東京光の家」に

セントラルの管理・運営

を依頼。同法人は快諾

した。

え、親子連れやスポーツで利用する若者、高齢者ら多世代が集う。共生社会を目指す同

市が、視覚障害者のための総合福祉事業を展

開する地元の社会福祉

法人「東京光の家」に

セントラルの管理・運営

を依頼。同法人は快諾

した。

市内の移動図書館「ひ

まわり号」がセントラ

ルに訪れる第2・4水曜

日に合わせ、セントラ

ル内で障害者による出張

カフェ「カナン」を開

いている。公園の向か

いにある障害者通所就

業施設のレストランで

作ったお弁当やパン、

ケーキなどを販売。知

的、視覚障害者計約3

人が販売に当たる。

崎さんは「普段関わら

ない人と会えて楽しい

です」と笑顔で話した。

このほか、園内とセ

ントーのトイレ清掃も

いで喜んでいる」と話

す。

同市に66カ所ある地

区セントラルのうち、旭

が丘地区セントラルだけ

がモデルケース的に実

施する先駆的な取り組

み。同セントラルの建築

費約9000万円の半

分を都が補助金で賄つ

たといい、同市地域協

働課の担当者は「都内、

全国的に珍しい取り組みだつたからでは」

と振り返る。



第2・4水曜日には市の移動図書館が訪れる

す。

同市に66カ所ある地区セントラルのうち、旭

が丘地区セントラルだけ

がモニタリングケース的に実

施する先駆的な取り組み。同セントラルの建築費約9000万円の半分を都が補助金で賄つたといい、同市地域協働課の担当者は「都内、全国的に珍しい取り組みだつたからでは」と振り返る。

開所から1カ月が経過し稼働率は上がり、障害者や利用する人の反応も上々だという。

崎世菜さん（26）。施設のイベントなどでも会計を担当しており、会計担当してお

り、つ、ごみを拾つたり、

間かけて1日1回画す

る。東京光の家の石渡健太郎常務理事は「これは最高のコンセプト。障

害者が担当。公園で探す視覚障害者の大

きは、知的障害者5~10人が毎日実施。約2時

間かけて1日1回画す

る